



# コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和4年9月15日  
NO. 67



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

## MAKE 翠陽's MEMORIES!!



当初の予定とは大きく変わりましたが

### 翠陽 思い出づくりと学びの旅へ

コロナ禍、With コロナ、新しい生活様式の中、長い間の慣例が当たり前ではなくなっています。学校祭や修学旅行等の学校行事もその一つです。中止としなければならないこともあります。新たな発想や工夫で「どうすればできるか」を考え、縮小しながらでも可能な限り実施する方法を模索しているのが学校の現状です。これまで通り(?)との願いもあろうかと思いますが、「今できる最大限のこと」が「現状の当たり前」とご理解ください。

今日9月15日(木)、吉澤先生を団長として、大畑先生、池田先生、大野先生の引率で3年生が修学旅行に元気に出発しました。入学当初は、首都圏への旅行に思いを馳せていたことでしょうか、そうなることを願っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で…その代替を、昨年度末のPTA役員会と4月のPTAで協議してきました。

コロナ禍の中で、「どこに行くのかよりも、だれと行くのが大切だ」と言った生徒がいました。今まで共に過ごしてきた仲間全員で行くことができることを最優先として、秋田県内の旅行を最終案として計画を進め、県北、男鹿方面での1泊2日の修学旅行となりました。

毎年、卒業生が話したり書いたりする中学校生活の一番の思い出として挙げられるのが修学旅行…みんな学び、楽しむ旅行です。縮小ながらも修学旅行を実施できて一安心しています。

旅のテーマは『MAKE 翠陽's MEMORIES!!~秋田のすばらしさや いままで知らなかったよさに触れよう~』、まさしく学年ネームの「すいよう」です。そして、私が思うキーワードは「みんな」です。「みんな」で行く旅行に、価値があり、学びがあり、思い出がつくれるものだと思います。一人の自己中心的な言動が、旅行の目的達成を阻害する要因となります。自分の楽しさを求める旅行ならば個人で旅行すればよいのです。集団で旅行する意義を正しく理解し、短い時間を有意義に過ごしてくれるものと思っていますし、きっと旅行団からうれしい連絡や報告があることでしょう。

でも、修学旅行は1泊2日ではないのです。そのための準備の時間や戻ってきてからも振り返りやまとめの時間を経て、はじめて修学旅行の終了となります。その行程や行動を思い返したとき、「楽しかった」「疲れた」「大変だった」「失敗した」などの単純な気持ちや、物としてのお土産物ではなく、みんなで行ったことによって「☆☆さんの★★★な、いい所が見えた」とか、「◎◎◎◎については、自分が考えていた以上に△△△△」、「□□□□な思いを強くした」、「やっぱり太田は▽▽▽▽」など、友達のよさや新たな面を再発見したり、行った先のよさとともに太田との比較の中で、太田との違いや太田のよさを見付けたり、さらに深く考えたりしたのであれば、実感を伴う学び、一番のお土産になるものと思います。

きっと多くの学びと思い出をもって明日帰ってくることでしょ。翠陽学年行ってらっしゃい。